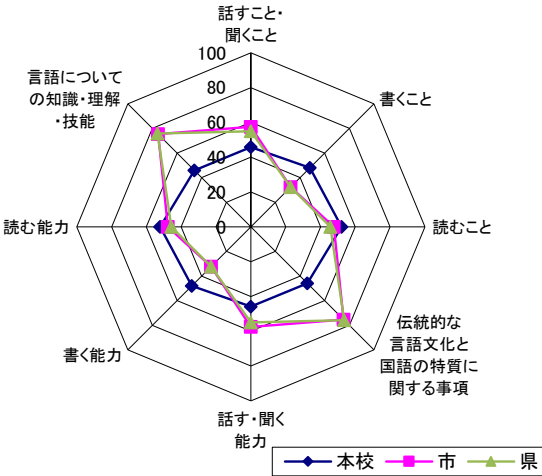


宇都宮市立富屋小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	45.8	57.5	54.9
	書くこと	47.9	32.3	32.3
	読むこと	52.1	47.7	45.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	45.8	75.3	75.8
観点	話す・聞く能力	45.8	57.5	54.9
	書く能力	47.9	32.3	32.3
	読む能力	52.1	47.7	45.7
	言語についての知識・理解・技能	45.8	75.3	75.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●「話し合いにおいて司会者の役割を理解し進行する」「理由を挙げながら筋道を立てて話す」などについて市・県の正答率を下回った。	・普段の授業の中で、グループ学習やペア学習、全体で考えを交流する学習を取り入れ、相手の考えを聞いたり、自分の考えを話したりすることが自然に行えるようにする。 ・学級内での諸問題など自分たちで解決できるよう、話し合いの進め方、司会の仕方などをよく理解できるよう指導を進める。
書くこと	●「報告レポートの作成」については、市・県の正答率を下回った。特に「文章構成を意識し、内容を工夫して報告レポートを書く」では大きく下回った。 ●「メモや友達の意見を基に、報告レポートのまとめを書く」ではやや下回った。	・国語の授業だけでなく、他の授業での振り返りや学校行事、交流活動を通して、文章を書く機会を多く設定し、自然に文が書けるように、書くことに慣れさせていく。 ・条件を付けて書かせたり、型を設定して書かせたりする場を設定し、スキルの向上を図る。
読むこと	○「説明文の内容の理解」では、「文章を読んで考え、まとめたことを発表し合う。」について、「文学作品の内容の理解」では、「登場人物同士の関係や物語上での役割を捉える」について市・県の正答率を上回った。読み聞かせや読書などを校内全体で推進している成果と考えられる。 ●「目的に応じて文章を要約する」については、市・県の正答率を下回った。	・普段の授業の中で、音読を重視し繰り返し読み内容を十分に理解できるようにする。家庭学習でも音読するようにさせる。 ・今まで通り読書や読み聞かせの時間を確保し、楽しみながら物語に親しむことができるようにする。 ・説明文の学習では、大切な言葉に着目し、段落ごとに内容を理解しながら読んでいけるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「日常使われている簡単な単語のローマ字による書き方」では、市・県の正答率を上回った。ローマ字に興味をもって学習している。 ●「漢字の書き」や「漢字の読み」については、市・県の正答率を下回った。	・漢字については、授業だけでなく、朝の学習や家庭学習で引き続き練習させていく。ミニテストなどを繰り返し行い定着を図る。 ・日々の学習の中で国語辞典や漢字辞典を使う活動を取り入れ、日常生活の中で自ら調べることができる力を付けるようにさせる。